

# 留 学 報 告 書

記入日: 2016年1月27日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University Fullerton
留学期間	2015年8月～2015年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年12月30日
明治大学卒業予定年	2017年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 8月下旬～12月中旬 2学期: 1月中旬～5月中旬
学生数	38,128人
創立年	1957年

留学費用項目	現地通貨(米ドル)	円	備考
授業料	\$5,622	674,640円	
宿舍費	\$7,884	946,080円	シングルタイプ、毎日食事付き
食費	\$0	0円	宿舍費に含まれる
図書費	\$150	18,000円	主に教科書
学用品費	\$50	6,000円	
教養娯楽費	\$1,500	180,000円	主に旅行代
被服費	\$300	36,000円	
医療費	\$0	0円	
保険費	\$1,000	120,000円	形態: 明治大学と現地の学校の指定の保険
渡航旅費	\$2,000	240,000円	現地での渡航費も含む
雑費	\$1,000	120,000円	
<b>合計</b>	<b>\$19,506</b>	<b>2,340,720円</b>	<b>\$1=120円として計算</b>

## 渡航関連

**渡航経路:** 東京 - ロサンゼルス

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	143,950 円
復路	82,443 円
合計	226,393 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

シンガポール航空の HP

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 3)

3) 住居を探した方法:

学校の HP

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

UH など OFF Campus にも安くて近い部屋はあるので、そちらもいいと思います。寮の食事はビュッフェ形式だったため、バランス良い食事をとることができました。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

家族

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

比較的安全な地域なので特に対策はしませんでした。夜中に一人で出歩かない様には気をつけました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮も含め、建物の中で Wi-Fi を利用する場合は不自由なく使うことができましたが、キャンパス内を移動している時には繋がりませんでした。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートを日本で作り、日本から入金してもらいました。クレジットカードも併用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

就活する予定の人はスーツは必須です。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) 留学前に自己分析をして、留学後と比べてみると良いと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advanced Pronunciation	上級 発音
科目設置学部・研究科	American Language Program
履修期間	Fall 2015 セメスター(8/24-12/17)
単位数	1.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Sonya K. Park
授業内容	American English の発音を教科書を使用しながら学んでいく。
試験・課題など	毎週 Notecard と別の宿題があり、試験として Interview やスピーチの発表がありました。また、自分の苦手な単語を Logbook としてまとめて提出。
感想を自由記入	授業中は、Discussion 等を積極的に行い、人と対話する時間を作ってくれたので Speaking 能力の向上に繋がったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American History & Politics	アメリカの政治と歴史
科目設置学部・研究科	American Language Program
履修期間	Fall 2015
単位数	1.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Heather Snavely
授業内容	欧州に支配されていた時代からのアメリカの歴史と政治について学ぶ。政治編では、主に大統領制や選挙の方法について学んだ。
試験・課題など	中間試験と期末試験が1回ずつある。また、授業内容に関係する自分が気になることについてのレポートや、Civil War についてのプレゼンテーションを行った。宿題は次の授業の話題について考えてくるようなものが多かった。
感想を自由記入	この授業もディスカッションの時間が多くとられていたので、自分がゼミでやっている様な内容について世界中の生徒と意見交換が出来たのは良かったと思います。アジア圏の人が多かったので、アジアに関する話をすることもできました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Entertainment & Tourism Studies	エンターテインメント&ツーリズム産業入門
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	Fall 2015
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Henry Puente
授業内容	エンターテインメントビジネスやツーリズム産業について学ぶ。具体的には、映画、ビデオ・DVD、テレビ、ラジオ、スポーツ、テーマパーク、音楽、出版、ツーリズム産業の構造や勢力関係等について学んだ。
試験・課題など	毎週授業の後に Web でクイズを受ける。Industry interview としてエンターテインメント産業で働いている人にインタビューをし、レポート(2枚)を提出。また、中間試験として Web 受験の50問程度の小テスト3回と、最後に筆記の期末試験がある。期末には同時に自分が気になる会社や業界についてレポート(15枚程度)を作成して提出。
感想を自由記入	授業のほとんどがエンターテインメント産業についてだったため、自分が一番学びたかったツーリズムについてはあまり学ぶことができませんでしたが、授業内容はとても興味深かったです。2回のレポートは、分量も多く少し大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Marketing		マーケティング基礎	
科目設置学部・研究科	Marketing		
履修期間	Fall 2015		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に165分が1回		
担当教授	Christopher Anicich		
授業内容	国内/国外における物・サービスのマーケティングにおけるコンセプトの背景やプロセス、基本原理などを学ぶ。リサーチやターゲットとするマーケットの決定、分配チャネルの発展ブランディングや価格決定を含む。		
試験・課題など	10題のクイズが5回。中間試験として50題の小テストを3回と、同じ分量の期末試験を1回受験する。また、期末の時期に自分が選んだ3社のマーケティングについて比較するレポートの提出がある(30枚程度)。		
感想を自由記入	今期履修した授業の中で一番難しかったです。テスト・クイズの回数が多く、自分が思う様な点数をなかなか出すことができませんでしたが、内容は一番ためになると思いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Japanese Civilization		日本文明入門	
科目設置学部・研究科	Japanese		
履修期間	Fall 2015		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Kazuha Watanabe		
授業内容	1600年頃までの日本についての講義や文献を読み、政府や経済、ビジネス、政治に影響を与えてきた日本の文化の基礎についての知識を深める。		
試験・課題など	不定期で行われる数回のクイズ、中間試験、期末試験に加えて、プレゼンテーションとレポートの提出がある。		
感想を自由記入	議論を通して外国人から見た日本の印象というものを知ることができたのが、一番の収穫だと思います。		

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	約3週間のシアトルへの語学研修
4月～7月	TOEICの勉強
8月～9月	TOEFLの勉強
10月～12月	TOEFLの勉強 協定留学出願
2015年 1月～3月	語学学習
4月～7月	協定校への出願 住居の確保 各種手続き
8月～9月	出発 オリエンテーション
10月～12月	ポストンキャリアフォーラム 帰国
2016年 1月～3月	報告書の作成 単位認定の申請
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生の頃から「留学」というものに対して憧れは持っていましたが、具体的なイメージはわいていませんでした。大学生になり、それまで海外に行ったことがなかったこともあり、1年次の春休みの時にシアトルへの語学研修に参加しました。現地の大学の規模に圧倒され、英語でのコミュニケーションに苦しみ、色々な人に出会い、、、とたくさんの発見がありました。異文化に触れ、刺激的な毎日を送ったことで、実際に海外に住んでみたい、英語を流暢に話せる様になりたいと思い、留学することを決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはりお金がかかるので、大学側に紹介される住居だけではなく、自分の力で他の可能性も探ってみてください。それだけで格段にコストが抑えられたりします。語学力の向上は必須です。語学力があればある程現地で友達をたくさん作ったり、早くなじむことができるので、いくら学んでも無駄にはなりません。留学生とネイティブの学生とでは、リーディングのスピードが違います。そのため、同じ教科書を読む課題でも、ネイティブの何倍も時間がかかりました。個人的には、リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングは全部できるだけ勉強することをおすすめします。
この留学先を選んだ理由	留学先でツーリズムを学びたいと思っていたので、アメリカの中でも観光業が栄えているカリフォルニア州を選びました。ロサンゼルス近郊の学校にすることでアメリカ各地へのアクセスが良く、少ない時間で効率的に色々な場所へ行けるというのも大きかったです。現地の大学に自分が学びたい科目が揃っていたのも一つの理由です。また、カリフォルニアには他の州と比べると、たくさんの人種が集まってくる場所でもあります。英語圏の土地はたくさんありますが、これだけたくさんの人種と生活するという経験ができるのは、カリフォルニアに留学した人ならではの特権だと思いました。
大学・学生の雰囲気	アメリカの大学という基準で考えると、キャンパスはそれ程大きくはないと思います。逆に言えば、コンパクトにまとまっているので教室間の移動が便利です。カリフォルニアということもあって、様々な人種の学生がいます。白人が大半を占めるということも、多様性を実感できるという点で一つの魅力だと思います。生徒数もそこまで多くないので、コミュニティ内の繋がりが強い印象を受けました。図書館にはいつもたくさんの人がいて、日本の大学生よりも勤勉な印象を受けました。また、図書館内は話しても良いスペースが多くとられていて、学生同士が真剣に議論しあう姿が多く見られました。
寮の雰囲気	寮内でのイベントはそれ程多い印象は受けませんでした。約 10 棟ほどに分かれていて、1つ1つの建物は4階建てのものが多く、開放的な印象を受けます。アメリカ人の生徒だけの部屋や、アメリカ人と留学生が混ざっている部屋、留学生だけの部屋など色々な人が住んでいたため、寮内で様々な人と出会うことができました。自分の部屋は、ドイツ人1人とイギリス人2人という留学生だけの部屋でしたが、皆友達を部屋に呼んでいたため、にぎやかで楽しかったです。
交友関係	できるだけ積極的に自分から話そうと心がけ、行動してみましたが、言語の壁もあり、中々仲のいい友達を作るのが最初は難しかったです。しかし、ルームメイトのドイツ人と仲良くなり、彼の紹介で彼の友達と寮のカフェテリアで一緒にご飯を食べたりしている内に、段々と友達が増えていきました。また、体験で行ったアルティメットというスポーツの部活で出会った人と後に一緒にジムに行く関係になるなど、自分が動いた分だけ友達が増えていくのを実感していました。
困ったこと、大変だったこと	「食」の問題は大変でした。寮に併設されているカフェテリアを毎日利用することができたのですが、メニューの種類が少なく、日本食もなかったため、飽きてしまうことが何回かありました。そのため、白米を買ってきて自分で炊いたり、簡単に料理する事が頻繁にありました。 また、日本と比べると公共交通機関が発達していないため、車を持っていなかった自分は移動が大変でした。バスの本数が少なかったため、タクシーを呼ぶか友達に頼んで乗せてもらっていました。
学習内容・勉強について	日本と最も異なる点は、宿題の量です。毎週リーディングの宿題が出ていたのですが、どうしてもネイティブの生徒と比べるとスピードが落ちるので、授業についていけないことも度々ありました。しかし、ノートの取り方を工夫したり、速読にチャレンジしたりと、色々と試行錯誤もしていました。また、日本関係の授業で出会った学生に日本語を教える代わりにレポートの添削をしてもらう等、協力してくれた人もたくさんいました。色々かつらかったことは多かったのですが、がむしゃらに頑張る大事さを改めて知りました。

課題・試験について	中間試験や期末試験が近づいてくると、少しずつ課題の量が増えていき、朝まで勉強する日もありました。しかし、少しずつ作業スピードがあがっていく等、自分の英語力が向上しているのも同時に実感していました。レポートはとても大変でしたが、参考文献を読んだり自分で文章を作ることは英語上達の近道だと思い、頑張りました。自分が興味のあることについてレポートを書くことができたのは楽しかったと同時に、完成した時の達成感も凄かったです。
大学外の活動について	南カリフォルニア大学(USC)という学校から生徒が明治大学に短期間の語学研修に来た際、サポーターを務めたのですが、そこで出会った人たちに現地では良くしてもらいました。アメリカンフットボールの試合に招待してもらったり、ご飯を食べにいたり、空港から学校まで車で送ってくれたり、大変お世話になりました。そこで彼らと色々なことを話し、自分にはとても刺激的な経験ばかりでした。また、南カリフォルニア近郊に住んでいる明治大学のOBの方々の集まりに参加させていただいたことも貴重な経験です。
留学を志す人へ	留学するのは簡単ではありません。行くまでにTOEFLの勉強やたくさんの選考、面倒な手続きが必要です。また留学中にも、対人関係や生活環境、学業などたくさんのトラブルがあると思います。正直、大変なことは物凄く多いですが、そうして悩んだ時間と経験は必ず自分のためになります。海外で見た景色や感じた事、出会った人々は一生その人だけの宝物です。絶対に諦めないで、積極的に行動して、最高の留學生活を送ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	課題	課題	課題	課題	家事	家事	家事
		授業		授業	課題	課題	課題
午後	授業	授業	授業	授業	観光	観光	観光
	授業	授業	授業	授業	課題	課題	課題
夕刻	授業	ジム	友人と過ごす	授業	ジム	観光	観光
夜	課題	課題	課題	課題	友人と過ごす	友人と過ごす	課題